

事業概要

1. 事業目的

東北大学病院は「患者さんに優しい医療と先進医療との調和を目指した病院」を基本理念と将来構想に掲げ、高度先進医療を中心とした質の高い医療、低侵襲の医療、最先端の医療の提供に取り組んでいる。平成30年5月には、新たな先進医療棟が稼働し、取り組みの実現によって本院の機能が強化される見込みである。

一方で、築30年を超える中央診療棟においては、引き続き診療等を行っている部門があり、施設の老朽化・陳腐化の観点から各部門の移転は喫緊の課題として取り組むものとしており、本業務はその一環として東西病棟3階を改修整備し、併せて術中MRI等の最先端医療を導入するものである。これによって、先進医療棟の稼働をより安全で効果的・効率的な運用とし、相乗効果による本院の機能強化を目的とした改修整備を行うものである。

2. 事業規模等

- ・建物名称：西病棟
 - ・建築年：2000年
 - ・構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
 - ・規模：地上18階地下2階建て 延べ面積43,710㎡
 - ・改修内容：内装改修
-
- ・建物名称：東病棟
 - ・建築年：2006年
 - ・構造：鉄骨鉄筋コンクリート造
 - ・規模：地上18階地下2階建て 延べ面積37,044㎡
 - ・改修内容：内装改修

(建築設計と電気・機械設備設計は分離発注)

3. 基本整備方針

- ・最先端医療の提供のため、術中MRI設備を導入する。
- ・先端医療棟の稼働をより安全で、効果的・効率的なものとするため、手術室4室（歯科、眼科）、ナースステーション、乗換えホール、更衣室等を整備する。
- ・改修整備期間中の工事による騒音や振動、ライフラインの制限は必要最小限とし、診療行為等への影響を抑制する。
- ・3階を改修中も上下階では診療行為および教育・研究活動を行っている。
- ・西病棟の将来計画（改修整備）等を鑑み、再利用や必要最小限の機能を備えるものとし、建設コストの低減を図る。
- ・環境に配慮した技術を利用し、施設の維持管理コストの低減を図る。